

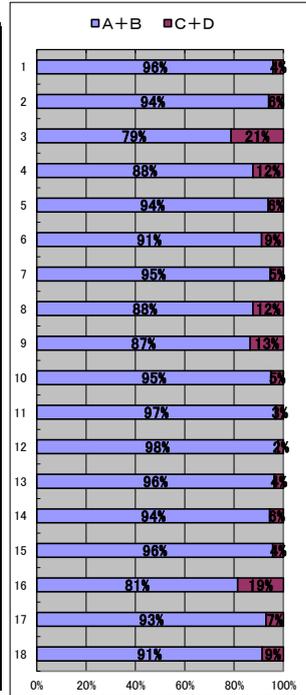
## 令和4年度の学校づくりに向けて — 令和3年度後期学校評価結果のおしらせ —

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。評価の結果は下記のとおりです。アンケート結果を真摯に受けとめ、次年度の教育計画や取り組みに反映してまいります。教職員一丸となって今後の学校づくりを進めてまいりますので、今後も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 学校生活に関するアンケート集計(生徒)

全校の在籍生徒数483名

評価項目	評価				評価			割合		今年度前期		
	①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④	①+②	③+④	
学習自己評価	1 授業開始3分前に着席し、授業の準備をしている。	222	211	18	1	433	19	452	96%	4%	90%	10%
	2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートでいねいに取ったりしている。	270	155	22	5	425	27	452	94%	6%	94%	6%
	3 宿題や提出ノートを毎日提出している。	198	158	65	31	356	96	452	79%	21%	82%	18%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	145	251	54	2	396	56	452	88%	12%	87%	13%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	237	187	23	5	424	28	452	94%	6%	94%	6%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	258	154	36	4	412	40	452	91%	9%	89%	11%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	279	149	21	3	428	24	452	95%	5%	92%	8%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	271	125	37	19	396	56	452	88%	12%	86%	14%
	9 さわやかなあいさつができています。	221	170	55	6	391	61	452	87%	13%	86%	14%
	10 時間を守った生活ができています。	195	234	22	1	429	23	452	95%	5%	93%	7%
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	284	154	12	2	438	14	452	97%	3%	94%	6%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	374	68	6	4	442	10	452	98%	2%	97%	3%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	326	109	14	3	435	17	452	96%	4%	97%	3%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	256	171	24	1	427	25	452	94%	6%	90%	10%
	15 部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	319	62	9	8	381	17	398	96%	4%	90%	10%
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	227	141	64	20	368	84	452	81%	19%	82%	18%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	242	178	28	4	420	32	452	93%	7%	90%	10%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	264	149	31	8	413	39	452	91%	9%	90%	10%
平均					412	37	平均	92%	8%	90%	10%	

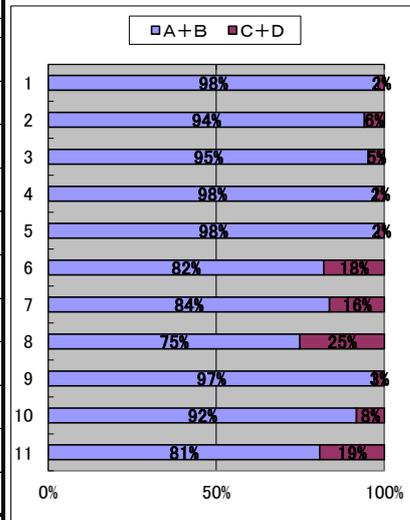


○今年度前期の割合と比較して、ほとんどの項目でA+Bの割合が増加しています。また、A+Bの割合が総じて高く、本校の生徒が良い状態で学校生活に取り組んでいる様子がうかがえます。  
 ○項目3が他の項目と比べて低い傾向にあり、今年度前期と比較してA+Bの割合が低下しています。教科により違いはありますが、評価の仕方が変わってきたことも関係していると考えます。学習課題や目標を生徒と共有し、その達成につながる家庭学習のあり方について考えていきたいと思います。  
 ○項目15の部活動については、コロナ禍で現在は部活動停止中ですが、今年度前期と比較してA+Bの割合が6%増加しました。9月に部活動が再開した後、文化祭や新人戦、コンクール等に向け、意欲的に取り組めたことが一因であると考えます。  
 ○項目9については、今年度の一番の重点項目でしたが、前期とあまり変わっていません。教職員も生徒も、さらにさわやかなあいさつができるように意識を高めたいと思います。特に、生徒会や学年の挨拶活動、部活動などの主体的な活動を通して、自分たちで誇りが持てるレベルをめざしたいと考えています。  
 ○項目16については、今年度前期と比較してA+Bの割合が低下しています。困った時に生徒が「まずは先生に相談しよう」と思い、気軽に相談できるよう、日頃から生徒と会話を増やすとともに、毎日の生活記録(紡ぐ)でのやりとり等を通して生徒理解に努め、信頼関係の構築に努めてまいります。

### 教育に関するアンケート集計(保護者)

全校の家庭数442戸

項目	評価				合計	割合		今年度前期	
	A	B	C	D		A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	162	170	6	0	338	98%	2%	97%	3%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	154	164	18	2	338	94%	6%	96%	4%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	149	173	15	1	338	95%	5%	93%	7%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	197	133	8	0	338	98%	2%	94%	6%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	208	124	5	1	338	98%	2%	98%	2%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	152	127	44	15	338	82%	18%	82%	18%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	110	173	52	3	338	84%	16%	81%	19%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	62	191	73	12	338	75%	25%	75%	25%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	200	128	8	2	338	97%	3%	97%	3%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	147	53	8	10	218	92%	8%	93%	7%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	54	219	61	4	338	81%	19%	81%	19%
平均					327	90%	10%	90%	10%

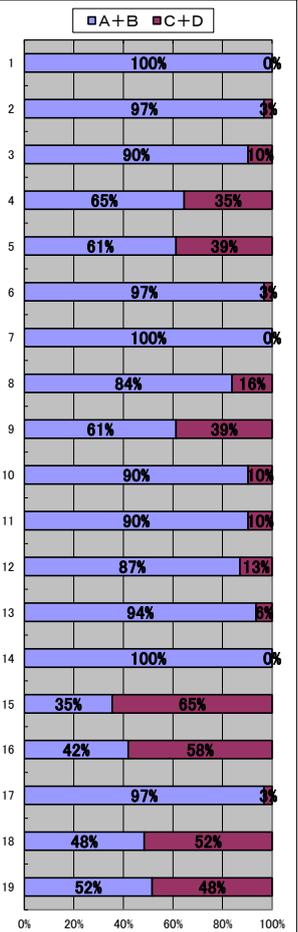


○今年度前期と比較して概ねA+Bの割合は同じでした。項目2については、前期と比較してA+Bの割合が2%低下しました。教職員の人権感覚を磨くとともに、日々の授業や生活を通して温かく安心できる人間関係づくりに取り組んでまいります。また、人間関係のトラブルを認知したときには、早急に対応し、家庭と連携しながら解決に努めます。項目4につきましては、前期と比較してA+Bの割合が4%増加しました。また、項目1、5については引き続き高い評価をいただきました。今後も『学級・学年通信』や『学校だより』、学校ホームページ等から学校生活の様子を発信してまいります。  
 ○部活動や授業中における教師の言動について疑問をもたれた意見もありました。これらのご指摘につきましては、学校長が個別に状況確認をして指導しました。お互いの指導法について学び合いながら個々の力量を高め、生徒が安心して生活できる学校にしていけることを改めて確認しました。これからも何かありましたら学校へお知らせいただきたいと思います。  
 ○トイレについては、におい等のご指摘や改修等のご要望を複数いただいておりますが、校舎改築前にあたりなかなか希望どおり進まない現状です。最低限の修繕を行いながら、掃除の行きとどいたトイレにしていきたいと思っております。

## 教育に関するアンケート集計（教職員）

回答職員31名

領域	具体的な方策	評価				合計	評価		割合		今年度前期	
		A	B	C	D		A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教育活動	1 1時間ごとの授業や単元でのつける力の明確化。	8	23	0	0	31	31	0	100%	0%	84%	16%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	5	25	1	0	31	30	1	97%	3%	84%	16%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	3	25	3	0	31	28	3	90%	10%	91%	9%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	8	12	9	2	31	20	11	65%	35%	63%	38%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	4	15	12	0	31	19	12	61%	39%	69%	31%
	6 五中人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	9	21	1	0	31	30	1	97%	3%	94%	6%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	9	22	0	0	31	31	0	100%	0%	81%	19%
	8 意見を言い合える場の設定	9	17	5	0	31	26	5	84%	16%	78%	22%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	6	13	11	1	31	19	12	61%	39%	56%	44%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	6	22	3	0	31	28	3	90%	10%	84%	16%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	9	19	3	0	31	28	3	90%	10%	94%	6%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	8	19	4	0	31	27	4	87%	13%	81%	19%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	9	20	2	0	31	29	2	94%	6%	100%	0%
学校運営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	11	20	0	0	31	31	0	100%	0%	94%	6%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	2	9	10	10	31	11	20	35%	65%	44%	56%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	3	10	15	3	31	13	18	42%	58%	75%	25%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	9	21	1	0	31	30	1	97%	3%	91%	9%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	5	10	16	0	31	15	16	48%	52%	59%	41%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	5	11	12	3	31	16	15	52%	48%	53%	47%
平均						24	7	78%	22%	78%	22%	



○本校において大切に考えている五中人権宣言に基づいた授業の推進は、昨年度後期以上に図られたものと考えられます。また、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を引き続き継続するとともに、生徒の良さや個性を認め、伸ばす教員であるよう研修を通して資質を高めます。  
 ○学習指導においては、項目1と2のつける力の明確化、学び合う授業場面の設定に課題を感じている職員の割合が高いです。生徒の声を聞いたり、教科会で学び合うなど学習指導の力量を高めるための研修を取り入れたりしながら授業改善に努めます。  
 ○項目5、15、16、18については、コロナ禍による活動自粛により会議や研究授業等が実施できなかったり、実施回数が減少したりしたため、評価が低くなっています。

<『令和3年度後期の学校評価』の集計ができましたので、つぎの6点に絞ってご報告いたします。>

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価→学習に向かう姿勢作りと基本的な学習習慣の定着をめざす工夫を続けてまいります。
- 2 生徒の生活自己評価→楽しい学校生活を継続していくために、今後も“生活の三重点”を意識した生活づくりに努めます。
- 3 生徒の授業評価→授業の終末を大切にするとともに、じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場を増やす工夫をします。
- 4 保護者の学校評価→概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。安心してお子さんを送り出せる安心・安全な学校づくりに努めます。
- 5 保護者の生徒の生活評価→分かりやすい授業であるとともに、学びが結果に結びつく授業をめざし、授業力の向上に努めてまいります。
- 6 学校自己評価→教師自身による評価です。生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指してまいります。

なお、この集計結果は、学校運営委員やPTA三役の皆様にもお示しし、いただいたご意見やご提言を「学校関係者評価」としてまとめ、設置者である上田市教育委員会に報告するとともに、学校ホームページでも公開します。